

民族共生象徴空間「ウポポイ」誕生で “おもてなし”のまちづくり

2020年4月、白老町のポロト湖畔に「民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）」が誕生する。町ではウポポイの完成に合わせて、インフォメーションセンターや道路の整備など、「おもてなし」の環境整備に取り組んでいる。ウポポイのオープンに期待を寄せる白老町で、より良いまちづくりについてお話を伺った。



2020年4月に誕生するウポポイ（民族共生象徴空間） 提供：文化庁
※本画像はイメージです



白老町経済振興課長
兼 港湾室長
藤澤 文一 氏



白老町アイヌ総合政策課長
三宮 賢豊 氏

——民族共生象徴空間「ウポポイ」はどのような施設になるのですか。

民族共生象徴空間（以降ウポポイ）は、先住民族アイヌを主題とした日本初の国立博物館「国立アイヌ民族博物館」（図1）と、アイヌの文化を体験しながら学べる「国立民族共生公園」を中核とした施設です。アイヌ文化の保存・継承、復興、そして発展のための拠点となるナショナルセンターとして誕生します。

白老町には古くからアイヌ民族のコタン（集落）がありました。今回、ウポポイが誕生するポロト湖の畔には旧アイヌ民族博物館があり、その実績や地理的な評価から白老町が選定されました。

新しく完成する国立アイヌ民族博物館では、「ことば、世界（信仰）、くらし、歴史、しごと、交流」という6つのテーマを、アイヌの人々の視点で語り、さまざまな資料を展示します。国立民族共生公園では、ポロト湖の畔でアイヌ古式舞踊の見学や、ムックリの演奏、アイヌ刺繍などを体験できます（写真1、2）。



図1 国立アイヌ民族博物館 提供：文化庁 ※本画像はイメージです



写真1
ムックリ演奏体験
提供：文化庁
※本画像はイメージです



写真2
アイヌ刺繍体験
提供：文化庁
※本画像はイメージです

——ウポポイのオープンに、白老町として期待していることを教えてください。

ウポポイでは年間100万人の集客が見込まれています。それに伴う町内での交流人口の見込みは300万人。これまで、白老町を訪れる観光客は年間150～170万人でしたから、単純に考えて2倍です。町としてもそれだけ多くの観光客を迎え入れるために、さまざまな準備に取り組んできました。これまで、白老町の観光は滞在型ではなく、通過型と言われてきました。旧アイヌ民族博物館を訪れた後、近隣の登別や洞爺などの温泉地に宿泊するケースが多かったのが実情です。今後は、町内にどれだけ長く滞在してもらえるかがポイント。そのための整備に力を入れていきます。

——町内の整備内容を具体的に教えてください。

ハード面では、JRの線路を挟んで南北に位置するウポポイと商店街の往来を活性化するためにJR白老駅に「自由通路(跨線橋)」を整備中です(図2)。ウポポイとの往来がしやすくなると、商店街でも恩恵が受けられるのではないかと期待しています。またJR白老駅の駅舎もリニューアルされ、駅前広場も誕生する予定です。

さらに、ウポポイの開業に合わせて観光情報発信の拠点となるインフォメーションセンターをオープンさせます(図3)。この施設では観光案内はもちろん、特産品の展示、販売や民間企業による飲食の提供、緑地広場を活用したイベントの開催も予定しています。

ソフト面では町の政策として、商店街の空き店舗を活用する創業支援事業を実施。カフェや飲食店、民宿など、新しい事業に対する助成金でバックアップしていますが、空き店舗はほぼ埋まりつつある状況です。



図2 民族共生象徴空間周辺整備 計画図



図3 インフォメーションセンターのイメージ

——新たなまちづくりに向けて、そのほかの取り組みを教えてください。

ウポポイには大型観光バスが多数乗り入れることが予想されますので、バス専用の駐車場を2カ所、町で整備しました。また、ポロト湖畔に開業する星野リゾート「界」へ続く道路の舗装工事や歩道の設置も行っています。さらにウポポイに近いポロト踏切を拡幅し、歩道のバリアフリー化を図る予定です。さらに今後は、ウポポイと町内を結ぶ循環バスの運行を視野に入れ、実証実験を行っていきたいと考えています。

またウポポイ以外でもアイヌ文化を体験していただけるよう、刺繍や木彫りなどのインストラクターを養成することも計画中です。

ウポポイオープン後は、交通渋滞の発生も予想されます。町としてはすでに、道路関係者が集まるアクセス検討協議会と話し合いながら、案内標識の設置などで渋滞が発生しやすい場所を避けるルートに促すなど、対策を講じていこうと考えています。

——ウポポイのオープンと、白老町への訪問を楽しみにしている『北の交差点』読者の皆さまにメッセージをお願いします。

アイヌの伝統と文化を守り、継承するために誕生するウポポイは、楽しい体験を通して先住民族への理解を深められる場所です。自然とともに生きるアイヌの人々を尊重し、自然の尊さや美しさを感じられる場所でもあります。

ウポポイの誕生を機に、観光で白老町を訪れる方々が過ごしやすいまちづくりに力を入れていますので、ぜひ、みなさんでお越しください。白老町だけではなく、周辺の市町村とも連携し、この地域の魅力を発信していきます。まだまだピーアール活動も頑張っていきたいと思っています。